

浜田市立今福小学校『心に残る文化財子ども塾』

1. 活動の概要

10月5日(月)、浜田市立今福小学校の『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回はコロナ禍の中、体験活動は、浜田市金城歴史民俗資料館で開催中の企画展を見学することになりました。

最初に、資料館に隣接する波佐公民館で、島根県埋蔵文化財調査センター職員の説明を聞きながら金城町の歴史について学びました。今福小学校のすぐそばを通る中国横断自動車道の建設に伴う発掘調査で、縄文時代の遺跡(岩塚Ⅱ遺跡)が見つかったこと、学校の近くにも古墳(金田古墳群)があるといった説明を聞きました。また、今回の会場となった波佐公民館周辺が、縄文時代や奈良時代のムラ(七渡瀬Ⅱ遺跡)だったことも学びました。

次に、資料館へ移動して、金城町内から出土した土器や石器などを見学しました。資料館では、企画展「考古資料に学ぶ金城の歴史」が開催されており、縄文時代から室町時代までの遺跡が紹介され、出土品が展示されていました。児童の皆さんは、埋蔵文化財調査センターの職員の説明に興味深そうに聞き、土器や石器を観察していました。さらに、資料館の方のご厚意で、縄文時代の凹石や石皿などの石器に触れたり、持ってみたりすることができました。児童の皆さんは代わる代わる石器に触ったり、そっと持ち上げてみたりして、縄文時代の人々の生活に思いを馳せていました。

2. 活動の様子



「金城町にもたくさんの遺跡があります。」(ふるさとの歴史を知ろう:波佐公民館)



「堅い木の実をつぶすのに使う石器です。」(体験活動:金城歴史民俗資料館)

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

心に残ったのは…

- 凹みがあった石の道具のこと
- 石でつくった道具にさわったこと
- 鉄をたたいてつくっていたこと
- 石見地方にはたたら製鉄が多くあったのがわかったこと

もっと知りたいこと・他に体験したいことは…

- 土器をつくってみたい
- 発掘作業をしてみたい
- 鉄づくり体験(見学)をしたい

2) 担任の先生から…

- やはり本物に触れる、専門家のお話を聞くというのは、学校の授業とは比べものにならないと思いました。そして担任の勉強にもなりました。
- 展示の見学前に、パワーポイントで資料・写真等を見ながら説明を聞いたのはとても良かったと思います。また、説明の中でクイズ形式を取り入れるなど、子どもの反応が出せるようにするというのも良かったと思います。
- 埋蔵文化財調査センターの職員に話を聞くということは、授業の内容(歴史)について学ぶという意味のほか、そうした職業に携わる方の「歴史愛」に触れるということでもあると思います。キャリア教育の視点からも、「歴史愛」を語ってくださると喜びます。
- (昨年度も実施しましたが)昨年度も今年度もとても楽しかったです。事前打ち合わせも丁寧にしてくださり、お礼申し上げます。

3) 埋蔵文化財調査センターから

- 学校訪問による事前の打ち合わせができず、担任の先生とは実施日当日が初対面でしたが、いろいろサポートしていただき、順調に進めることができました。ありがとうございました。
- 小学校の校区内や自分たちが住む町に、どんな遺跡がどのくらいあるのか説明するよう心がけています。児童の皆さんにも、普段暮らしている地域の豊かな歴史を、多少なりとも学んでもらえたのではないのでしょうか。
- 触ることのできる出土品を準備していなかったのですが、資料館の方の御厚意で、展示されていた本物の石器に触れさせていただきました。感想にも、「石器を見たこと」、「石器に触ったこと」がありましたが、児童の皆さんにとって貴重な経験になったと思います。
- 学校外での開催となりましたが、各会場の関係者ほか多くの皆様に御協力をいただき、予定どおり実施できて本当に良かったです。あらためて感謝申し上げます。